

『建設物価 建築費指数[®]』

2025 年 12 月分の指数データを公表

一般財団法人建設物価調査会（本部：東京都中央区、理事長：白土昌則）では、同会ホームページにて毎月公表している『建設物価 建築費指数』について、2025 年 12 月分の指数データを **2026 年 1 月 13 日 13:00 より公表**いたします。

建築費指数は、**建物を建築する際の工事価格の変動**を明らかにすることを目的に作成されており、物価としての建築費の時点間や地域間での比較や、建築費の動向に関する時系列的な観察が可能です。

■2025 年 12 月分の指数動向（工事原価指数 東京）■

▶集合住宅(RC 造)の指数は、**142.2(暫定値)**と前月比で **1.0%増**、前年同月比 **5.5%増**となった。

【前月からの変動要因】 プラス寄与：上記以外の建築細目[+0.78]、木工(材工)[+0.26]、電線・ケーブル(材工)[+0.04]の3細目
(対純工事費指数) マイナス寄与：なし

▶事務所(S 造)の指数は、**139.8(暫定値)**と前月比で **0.7%増**、前年同月比 **2.8%増**となった。

【前月からの変動要因】 プラス寄与：上記以外の建築細目[+0.62]、木工(材工)[+0.08]、電線・ケーブル(材工)[+0.06]の3細目
(対純工事費指数) マイナス寄与：なし

▶工場(S 造)の指数は、**138.3(暫定値)**と前月比で **0.5%増**、前年同月比 **2.8%増**となった。

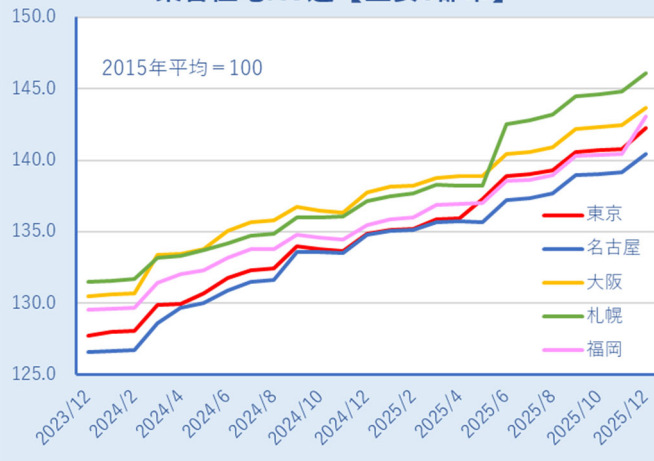
【前月からの変動要因】 プラス寄与：上記以外の建築細目[+0.44]、電線・ケーブル(材工)[+0.08]、木工(材工)[+0.02]の3細目
(対純工事費指数) マイナス寄与：なし

▶住宅(W造)の指数は、**148.3(暫定値)**と前月比で **2.9%増**、前年同月比 **6.1%増**となった。

【前月からの変動要因】 プラス寄与：木工(材工)[+2.33]、上記以外の建築細目[+0.78]、電線・ケーブル(材工)[+0.02]の3細目
(対純工事費指数) マイナス寄与：なし

■工事原価指数グラフ■

集合住宅RC造【主要5都市】



※2025 年 11～12 月の指数は「暫定値(P 値)」です。

■工事原価指数値■

集合住宅 RC 造【主要 5 都市】

※2015 年 = 100

年月	東京	名古屋	大阪	札幌	福岡
2024年12月	134.8	134.8	137.8	137.1	135.5
2025年1月	135.1	135.0	138.2	137.5	135.9
2月	135.2	135.1	138.2	137.7	136.0
3月	135.9	135.6	138.8	138.3	136.9
4月	136.0	135.7	138.9	138.2	137.0
5月	137.3	135.7	138.9	138.2	137.0
6月	138.9	137.2	140.4	142.5	138.5
7月	139.0	137.4	140.6	142.8	138.6
8月	139.3	137.7	140.9	143.2	139.0
9月	140.6	138.9	142.2	144.5	140.3
10月	140.7	139.0	142.3	144.6	140.4
11月	P 140.8	P 139.1	P 142.4	P 144.8	P 140.5
12月	P 142.2	P 140.4	P 143.7	P 146.1	P 143.1

■主な指数動向寄与細目（東京）■ 詳細な市況は <https://www.kensetu-bukka.or.jp/> をご覧ください。

プラス寄与

人手不足による人件費の上昇を主な要因として、木工・石工・金属製建具工などの専門工事費が値上がりした。加えて、世界的な銅価格の上昇に伴う原材料費の増加が製品価格に転嫁され、電線・ケーブルの価格も上昇した。これらが指数を押し上げる要因となった。

マイナス寄与

なし



【お問合せ先】※「建設物価 建築費指数」は建設物価調査会の登録商標です。転載・二次利用には出典を明示してください。

一般財団法人建設物価調査会 総合研究所 経済研究課 Tel : 03-3663-7235

東京都中央区日本橋大伝馬町 11 番 8 号 フジスタービル日本橋 E-mail : econ@kensetu-bukka.or.jp

詳細な指数はコチラ → https://www.kensetu-bukka.or.jp/business/so-ken/shisu/shisu_kentiku/